

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	プログラミング基礎	科目名	プログラミングⅡ				科目コード	T1112B3		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	酒井 尚子	履修グループ	1C(JT/KS)				授業方法	演習		
実務経験の内容	自治体向けシステム開発のプログラマからIT業界に入り、一般企業向けシステム、証券向けシステム、教育向けシステムに携わってきました。経験としてはプログラマーを経てSE、PLを経験。開発言語はCOBOL、RPG、SQL、.net、NET.COBOLなど経験年数は業務に携わった期間によって違いがありますが経験があります。SE、PLの経験が長く、要件定義から運用業務まで幅広く経験しています。また、営業経験もあり提案や、見積作成、新規企画開発の経験もあります。いままでのいろいろな経験を踏まえ指導を行っていきます。									
学習一般目標	本校では、IPAが提唱し、企業で人材戦略のために広く利活用されているiCD（iコンピテンシ ディクショナリ）を参照し、「企業現場で遂行される実際のタスク（業務）」をベースとして本校独自の「タスク・専門スキルモデル」を構築し、それをもとにカリキュラムを構成している。 科目「プログラミングⅠ～Ⅲ」では、アプリケーション開発においてプログラマが遂行するタスクである「プログラミング」が実施できることを目指す。そのために、本科目「プログラミングⅡ」では、タスク「プログラム構造設計」の中の「モジュール仕様書読解」や「モジュール論理設計書作成」のスキル、タスク「プログラミング」の中で業務システム構築の際に必要な「データベース操作」のスキルの習得を目指す。									
授業の概要および学習上の助言	モジュール論理設計の設計書に記述された処理手順を理解し、それに基づいたコーディングが行えるように演習を実施する。また設計書の作成もできるようにしていく。授業後半では、データアクセス技術を用いたデータベースプログラミングを学び、CRUD操作のコーディングを行う。最終課題の実務システム演習では、初級PGの「タスク」であるモジュール論理設計、プログラミング、単体テストの仕様作成、実施の総合演習を行う。本科目ではウォーターフォールモデルを基本とする開発工程を理解し、1年前期の「プログラミングⅠ」で学んだプログラミングに必要な基礎知識やスキルを活用して、各開発工程の成果物に基づく実習課題に取り組んでほしい。									
教科書および参考書	なし									
履修に必要な予備知識や技能	特になし									
使用機器	各自の個人所有パソコンを使用する									
使用ソフト	Visual Studio 2022、C# SQL Server									
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標							
	1/2/4		モジュール論理設計の設計書を理解・作成でき、設計書に基づいたコーディングができる							
	1/2/4		データベースへのアクセス技術を理解し、CRUD操作のコーディングができる							
	1/2/4		テスト仕様書に基づいて、ホワイトボックステストとブラックボックステストが実施できる							
	1/2/4		ツールを用いたバージョン管理ができる							
	5		専門知識や技能を修得するために自ら継続的に学習する							
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部DP	1.知識・理解	5	5	30					40
		2.思考・判断	2	2	15					20
		3.態度							5	5
		4.技能・表現	2	2	15					20

	5.関心・意欲							15	15
	総合評価割合	10	10	60				20	100
評価の要点									
評価方法		評価の実施方法と注意点							
試験		学期末に期末試験を実施してその成績で評価する。							
小テスト		学期末に期末理解度確認テストを実施してその成績で評価する。							
レポート		授業中に出题する課題に対する提出物の完成度を判断する。 ただし、提出物を自ら作成しなかった場合や期限までに提出しなかった場合は、原則として評価しない。							
成果発表(口頭・実技)									
作品									
ポートフォリオ									
その他		授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。							

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	設計書に基づいたプログラミング(復習) ・設計書の理解(擬似言語を用いた処理手順) ・基本文法のコーディングとデバッグの復習	講義・演習	
第2回	設計書に基づいたプログラミング(復習) ・確認テスト プロパティを理解する クラスの継承を理解する	講義・演習	
第3回	Listクラスの使い方を理解し、foreach文による繰り返し処理を作成する	講義・演習	
第4回	データアクセス技術を理解する(データプロバイダ) ・データプロバイダを用いたコーディングの理解 ・CRUD操作(Create(登録)、Read(参照)、Update(更新)、Delete(削除)機能)のコーディング練習	講義・演習	
第5回	データアクセス技術を理解する(データプロバイダ) ・パラメータを用いたCRUD操作のコーディング演習	講義・演習	
第6回	データアクセス技術を理解する(データプロバイダ) ・演習問題	講義・演習	
第7回	データアクセス技術を理解する(Entity Framework) ・Entity Frameworkを用いたコーディングの理解	講義・演習	
第8回	データアクセス技術を理解する(Entity Framework) ・Entity Frameworkを用いたCRUD操作のコーディング演習	講義・演習	
第9回	データアクセス技術を理解する(Entity Framework) ・Entity Frameworkを用いたCRUD操作のコーディング演習	講義・演習	
第10回	実務システム演習 ・Entity Frameworkの実務的なコーディングを練習する	講義・演習	

第11回	実務システム演習 ・Entity Frameworkの実務的なコーディングを練習する	講義・演習	
第12回	実務システム演習 ・Entity Frameworkの実務的なコーディングを練習する	講義・演習	
第13回	期末理解度確認テスト	小テスト	
第14回	課題解決型授業1 プログラム演習	遠隔授業 実施時期:6期 (11月後半)	
第15回	課題解決型授業2 プログラム演習	遠隔授業 実施時期:8期 (12月後半)	